

# 人輝くまちの情報誌「広報あきたかた」

# Akitakata

NO.129  
11  
2014.NOV

発行編集 安芸高田市 政策企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 Tel.(0826) 42-5612 Fax.(0826) 42-4376 <http://www.akitakata.jp/>



## 地域の危険な箇所を みんなで確認！

(今月の主な内容)  
2~5  
命を守る備え～自主防災組織～

## 御本館

《吉田町吉田》

## 安芸高田歴史紀行



御本館平面図(当館蔵)

【登城ガイド】  
標高/205m、比高/3m  
史跡指定/未指定 城主/浅野長厚

**立地**：別名「御住館」。かつて毛利氏が築いた郡山城跡の麓にあった、平地の陣屋です。東側を出雲街道、西を石見街道が通る要所でした。

**歴史**：1863年、広島浅野藩の命により築城が開始され、江戸青山にいた分家の浅野長厚が家臣団を伴い吉田に移住します。陣屋は翌年に完成し吉田は城下町となりますが、間もなく明治維新を迎え、御本館も廃止されました。なお、移築された一部の建築は現存しています。

**城跡**：現在陣屋の痕跡はありませんが、詳細な資料が残っています。堀と土塁に囲まれた敷地には東西2ヶ所に入口があり、内部には広大な屋敷がありました。政治性・居住性が重視されていますが、郡山と一体的な軍事要塞としての機能も強く意識されていました。

**考察**：長州藩による聖地吉田の奪還の噂に備えて築いた、と言われていました。確かにこの時期に脅威ではあったものの、当時の広島藩には長州藩と戦う意志はなく、対長州戦に備えての築城とは考えられません。実際は激動する社会情勢に対して、藩内北部の治安維持のために拠点を置いたようです。そしてそれが吉田であったのは、当時頻繁に長州藩士の元就墓所参拝が行われ、毛利との関わりが深くなっていたためかもしれません。(御本館に関する情報は博物館までお寄せ下さい。)



御住館図(部分、当館図)



御本館跡遠望(南側上空より平成18年撮影)

毎回戦国時代の城跡を紹介していますが、今回は江戸時代末の陣屋です。陣屋とは一般に3万石以下の大名屋敷のことですが、それが吉田高校の敷地に存在したのを御存じですか？今からちょうど150年前、幕末の宿場町吉田に出現した幻の陣屋、それが「御本館」です。

## シリーズ「お城拝見！」第五十三回

安芸高田市歴史民俗博物館  
学芸員 秋本哲治

## 編集後記

ホットな話題に掲載のけんみん文化祭ひろしま芸能・銭太鼓の祭典を取材させていただきました。どの出演者の皆さんも、表情がとても美しく輝いておられ、癒しのシャワーを浴びさせていただきました。ありがとうございました。(浮田)

夜中の大雨、激しい雷。翌日、他町に住んでいる職員と話しても、場所により全然違って、ことにびっくりすることがあります。天気予報を見ながら、自分なりに判断することは大事なことです。(森本)

かけがえない命を守るための、自主防災組織。訓練はもちろん、避難場所や、誰がどこに住んでいるのかなどの情報をみんなで共有しておくことが、とても大切なことだと思いました。(田村)

## 今月の表紙

自主防災会で土砂災害の危険がある箇所を、市危機管理課職員の説明を受けながら確認する、太郎丸自主防災会の皆さん。